
体育史学会 会報
Japan Society of the History of
Physical Education and Sport

No. 210 2014. 7. 11.

体育史学会事務局
<http://www.taiikushi.org>

〒470-0393
愛知県豊田市貝津町床立 101
中京大学スポーツ科学部
来田享子研究室内
Fax: 0565-46-6568 (研究室直通)
taiikushi_office@taiikushi.org

事務局への連絡は Fax または e-mail をご
利用下さい。

I. 日本体育学会第 65 回大会におけるシンポジウムおよびキーノートレクチャーの実施について

日本体育学会第 65 回大会は 2014 年 8 月 25 日 (月) から 28 日 (木) まで、岩手県盛岡市のアイーナ (いわて県民情報交流センター)・マリオス (盛岡地域交流センター)・岩手大学において開催されます。専門領域体育史では、シンポジウムおよびキーノートレクチャーを実施いたします。また同日シンポジウム後に体育史専門領域の懇親会を開催いたします。

(1) 専門領域体育史シンポジウム

①日程：2014 年 8 月 27 日 (水) 15:30-17:30

②テーマ：スポーツの競技・種目史のこれまでとこれから-その意義と課題-

③演者：

種目史は通史認識の深化を促す-ホッケー史研究の成果から-：秋元忍 (神戸大学)

スキー史の観点から：新井博 (びわこ成蹊スポーツ大学)

バスケットボール史の観点から：及川佑介 (東京女子体育大学)

日本テニス史研究の課題と可能性：後藤光将 (明治大学)

④コーディネーター：鈴木明哲 (東京学芸大学)

(2) 専門領域体育史キーノートレクチャー

①日程：2014 年 8 月 27 日 (水) 14:15-15:15

②テーマ：日本における女子体育教師史研究

③演者：掛水通子 (東京女子体育大学)

④司会：来田享子 (中京大学)

(3) 体育史専門領域懇親会

日程：2014 年 8 月 27 日 (水) シンポジウム終了後

II. 日本体育学会第 65 回大会期間中における懇親会開催について

日本体育学会第 65 回大会は 2014 年 8 月 25 日 (月) から 28 日 (木) まで、岩手県盛岡市のアイーナ (いわて県民情報交流センター)・マリオス (盛岡地域交流センター)・岩手大学において開催されます。このうち 8 月 27 日は、専門領域体育史のシンポジウムおよびキーノートレ

クチャーが行われます。この日程で懇親会を開催いたします。

日時：2014年8月27日（水）18：30～20：30

（第2日目、キーノート&シンポジウムの後）

会場：ビアレストラン・アリーブ盛岡店

盛岡市大通3-3-18 ホテル東日本 B1F

<http://www.ariv.co.jp/restaurant2.html>

会費：約5000円（ビール・日本酒・ワインの飲み放題と料理7品）

参加について：7月中旬に参加申込みについてお知らせ

懇親会に参加される会員の皆様は、**8月16日(土)**までに体育史学会事務局の来田享子のメールアドレス(taiikushi_office@taiikushi.org)に「専門領域体育史 懇親会参加 会員氏名○○○○」というようにお知らせください。会場店舗への予約の関係上、必ずご連絡いただきますよう、お願いいたします。

Ⅲ. 『体育史研究』編集委員会より

『体育史研究』第32号を発行する予定です。『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われておりますが、各年度の投稿締め切りは9月末となっております。詳細については『体育史研究』最新号に掲載されている投稿規程、学会ホームページ(<http://taiikushi.org/kenkyu/data.html>)をご覧ください。

役員改選にともない、投稿先を編集委員の秋元忍先生の所属勤務先に変更しましたので、ご注意ください。なお、前任期の編集委員会における合意事項により、ファイル容量等によっては、メールに添付したデジタルファイルで投稿することも可能です。デジタルファイルでの投稿を希望される場合は、ファイルの形式等について投稿前に体育史研究編集委員会にお問い合わせください。

<『体育史研究』投稿原稿送付先>

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-1-1

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科

秋元忍研究室気付 『体育史研究』編集委員会

E-mail taiikushi_office@taiikushi.org

Ⅳ. 会報の電子化に伴う会員による e-mail の登録について(お願い)

(1) 体育史学会では会報を電子化し、会員メーリングリストによって閲覧のご案内をお送りしています。体育史学会会員は以下のアドレス使用の用途をご理解の上、e-mail アドレス登録にご協力ください。

〔e-mail アドレス使用の用途〕

- ① 以下の②～④の用途に会員のメールアドレスを使用し、その他の用途には使用しないこととする。
- ② 体育史学会からの会報等（添付資料 MS-WORD 書式）を配信するために会員（正会員，準会員，名誉会員）からお申し出のアドレスを使用する。複数のアドレスでもよいこととする。ただし、携帯電話のメールアドレスは不可とする。
- ③ 体育史学会に関する事務局からの連絡や会員への問い合わせに使用する。

- ④ 一般社団法人日本体育学会事務局からの体育史学会会員への連絡事項や会員への問い合わせに使用する。

【e-mail アドレスの事務局への新規登録／登録アドレス変更方法】

（方法 A）事務局宛にメールで連絡する

- ① 事務局（来田享子，中京大学，taiikushi_office@taiikushi.org）にメールを送付する。件名：体育史学会メール登録，メール本文に「会員氏名，メールアドレス」を入力する。
- ② 事務局長からのメール返信（会員メールアドレス，このメールが体育史学会事務局へ登録されました。）によって，登録手続きが完了したとする。
- メール返信は，自動化されていませんので，事務局長不在の際は，返信が遅れることがあります。返信がない場合は，再度送信していただくか，メールか，ファックスで問い合わせして下さい。

（方法 B）学会ホームページの専用ページ（入会&登録変更フォーム）から送信する

<http://taiikushi.org/%E5%85%A5%E4%BC%9A%EF%BD%A5%E4%BC%9A%E5%93%A1%E7%99%BB%E9%8C%B2%E5%A4%89%E6%9B%B4.html>

（2）HP に会報をアップした旨のメールを登録メールアドレス宛に配信いたします。そして，会報の内容を体育史学会ホームページ（<http://www.taiikushi.org>）よりご覧いただくようにしております。

また，会報の受け取りや事務局からの連絡について，e-mail をお使いにならない会員は，はがきか封書でその旨事務局にご連絡下さい。e-mail をお使いにならない会員に対しては，そのお申し出を受けて封筒による紙媒体で会報をお送りいたします。

V. 会費を銀行口座からの自動引き落としによって納入されていない会員の方へ

2014（平成 26）年度会費は，郵便振替または，ゆうちょ銀行への振り込みをご利用下さい。
（学会名の変更および役員改選にともない、口座番号が 2013 年 7 月 22 日より変更になりますのでご注意ください）

①郵便振替を利用される場合

記号番号 00180-0-386444 加入者名 体育史学会

②銀行振り込みを利用される場合

ゆうちょ銀行総合口座

10020 76030671 口座名義 体育史学会

VI. 体育史学会第 3 回学会大会(2014 年度)の報告

体育史学会第 3 回学会大会（2014 年度）は，秋元忍先生（神戸大学）のお世話により，5 月 10 日（土）および 11 日（日）の両日，神戸大学において開催されました。一般研究発表は，以下のように 8 演題の発表がありました。この他に体育史研究・研究方法セミナー（演者：山本徳郎先生）が実施されました。

【一般研究発表】

発表演題は以下のとおりです（発表順）。

○わが国スキー黎明期の富士スキー登山（四隊の場合）に就いて

発表者：土屋 晴夫（ワールドロペットマスター）

座 長：新井 博（びわこ成蹊スポーツ大学）

- 精力善用自他共栄／精力善用 自他共栄と『大乘起信論』の“一心二門”の構造
 発表者：高平 健司（筑波大学大学院）
 座 長：榊原 浩晃（福岡教育大学）
- 中等学校教員検定に関する臨時特例による体操科免許取得者数について
 発表者：古川 修
 座 長：大久保英哲（金沢大学）
- 国民学校「体錬科」の初期成立過程に関する一考察
 一教育審議会（1937.12～1938.12）での審議を中心に一
 発表者：崎田 嘉寛（広島国際大学）・鈴木 明哲（東京学芸大学）
 座 長：坂上 康博（一橋大学）
- T.D. ウッドのアメリカ新体育論に関する思想的前提：“School Hygiene in its Bearing on Child Life”（1903）の論説にみる体育論を中心として
 発表者：中牟田佳奈（福岡教育大学大学院）・榊原 浩晃（福岡教育大学）
 座 長：秋元 忍（神戸大学）
- 1948年第43回IOCロンドン総会の日本人出席問題に関する歴史的研究
 発表者：和所 泰史（中京大学大学院）・來田享子（中京大学）・木村吉次（中京大学）
 座 長：和田 浩一（フェリス女学院大学）
- 明治期の長崎活水女學校に設置されたバスケットゴールの特定
 発表者：柿山 哲治（福岡大学）
 座 長：來田 享子（中京大学）
- 大正15年刊『新制学校体操教授要目』重複出版の検討
 発表者：木下秀明
 座 長：鈴木 明哲（東京学芸大学）

〔体育史研究・研究方法セミナー〕

- 初期トゥルネン史研究で考えたこと
 演者 山本 徳郎（奈良女子大学名誉教授）
 司会 有賀 郁敏（立命館大学）

VII. 体育史学会総会（2014年度）報告

別途配信についてご案内する総会資料をご覧ください。

なお、今年度の総会では新たに以下について方向性が確認されましたので、特にご留意ください。

- (1) 日本学術会議への登録について（審議事項4）
 日本学術会議に登録する作業を進めることが確認されました。
- (2) 「体育史研究」既刊号のWeb公開について（審議事項5）
 上記(1)の登録が承認された後、国立情報学研究所の学協会情報発信サービスを受けることをめざしつつ、「体育史研究」既刊号をWeb公開することが確認されました。ただし、発行後何年後にWeb公開するか、広告等公開しないページの確定については、理事会に一任することとなりました。